■国語科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつよさを認識するとともに、言語感覚を養い、国語の大切さを自覚し、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

■国語科の特質に応じた見方・考え方

言葉による見方・考え方を働かせるとは、児童が学習の中で、対象と言葉、言葉と言葉との関係を、言葉の意味、働き、使い方等に着目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めること。

■高知県が目指す授業づくりのコンセプト

○国語科における「学びを変える」授業づくりとは

課題解決的な学習を通して、指導事項に示す資質・能力の着実な定着が図られるよう学習過程を工夫することです。そのためには、児童が自分の課題を明確にした上で学習の見通しをもち、目的や必要性を意識しながら学びを進めることができる適切な言語活動を設定することが必要です。また、それを通して、どのような資質・能力を育成するのかを明確にして指導することが大切です。

○国語科における「学びをつなげる」授業づくりとは

指導内容の系統性に基づき資質・能力を整理し、各学年の指導計画に沿いながら、言語能力が系統的・ 段階的に高まるようにすることです。そのためには、9年間で育成を目指す資質・能力の系統を捉え、 学年ごとに重点を置くべき指導内容や、単元で働かせる言葉による見方・考え方を明確にし、児童の学 習や発達の段階を考慮して、螺旋的・反復的に指導がなされるよう計画を立てていくことが大切です。

○国語科における「学びを高める」授業づくりとは

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、言葉の特徴や使い方などを理解し自分の思いや考えを深める学習の充実を図ることです。そのためには、目的意識や相手意識が明確な言語活動を設定し、深い学びの鍵となる言葉による見方・考え方を、習得・活用・探究という学びの過程の中で働かせることを通じて、質の高い深い学びにつなげることが重要です。

■国語科の特質に応じて、効果的な学習展開ができるように配慮すべき内容

○学習過程の明確化、「考えの形成」の重視

各領域ごとに、学習過程が一層明確になり、それぞれの過程に指導事項が設定されています。ただし、 学習過程は指導の順序性を示すものではないため、必ずしも指導事項を順番に指導する必要はありません。また、〔思考力、判断力、表現力等〕の全領域に「考えの形成」に関する指導事項が示され、自分の 考えを形成し、深める力の育成が重視されています。

○言語活動の創意工夫

学習指導要領には、〔思考力、判断力、表現力等〕の各領域の指導事項を実現できるように、言語活動例を種類ごとにまとめた形で示しています。各学校では、言語活動例を参考にしつつ創意工夫をして、言語活動の具体化を図ることが必要です。指導のねらいと言語活動の特徴を吟味することで、多彩な言語活動を構想することができます。

○他教科等との関連

言語能力の育成に向けて、他教科等との関連を積極的に図り、指導の効果を高めるようにします。また、国語科と同様、言語を直接の学習対象としている外国語活動及び外国語科との連携は特に重要なものとなります。例えば、指導の時期を工夫すること、関連のある学習内容や言語活動を取り上げた単元の設定を工夫することなどが考えられます。

学びに向かう力、人間性等

言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を大 切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度。

- (3) 我が国の言語文化に関わ る事項 読書
- 読書に親しみ、いろいろ な本があることを知ること。

思考力、判断力、表現力等

- C 読むこと
- ウ 文章の中の重要な語や文 を考えて選び出すこと。

《単元末に期待する子供の姿の例》

いて知りたくなりました。 手に使っているから、他の も上手に使っていると思いましたけて布団代わりにするそうです。 寒いときに尾を体に巻き付 ₽́ (= __ ۲ - % 他の動物の尾につ

どうぶつのからだシ リーズの「どうぶつの しっぽ」には、いろい ろな動物のしっぽの役 目が書いてあったよ。

ビーバーのように、 ほかの動物の体にも、 ひみつがありそうだ。 どんなひみつか調べて みたいな。



ぼくは、

ビ

ーが泳ぐときに尾を上

引用関連図書 「どうぶつのからだ⑥ どうぶつのしっぽ」

增井光子 監修 株式会社偕成社(2010)

《主たる教材例》「ビーバーの大工事」、「本でしらべよう」 (東京書籍2年下)

《個々の子供の状況に応じた配慮》

- ◇動物の体の特徴や生態について書かれた段落を示す。
- ◇教材文と関連した事柄が書かれている図鑑や科学的な本を用 意する。

《他教科等との関連》

【生活】第1・2学年 【理科】第3・4学年 ○生き物や植物等を観察したり、調べたりする活動

を見付けて要約すること。

第5学年及び第6学年

見付けたり、論の進め方について考 えたりすること。

中学校第1学年

結び付けるなどして必要な情報を T要約したり、場面と場面、場面と 描写などを結び付けたりして、内容 を解釈すること。

中学校第2学年

◆目的を意識して、中心となる語や文∥◆目的に応じて、文章と図表などとを∥◆目的に応じて必要な情報に着目し∥◆文章と図表などを結び付け、その∥◆文章の構成や論理の展開、表現の 関係を踏まえて内容を解釈するこ

中学校第3学年

仕方について評価すること。

資質・能力を身に付けるための言語活動例

言語活動 ●もっと知りたい!どうぶつのひみつをしらべよう

~自分が知りたい動物の秘密を明らかにし、図鑑や科学的なことについて書いた本などを使って調べる~

本単元では、自分が知りたいと思った動物の体のつくりや生態について図鑑や科学的な本を使って調べ、友だちと伝え合う活動を設定している。ここでは、 教材文を読んで興味や関心をもったことを明らかにし、その事柄について類似する他の動物について調べる。知りたいことを調べるためには、自分が知りたい と思った事柄やそれと関係のある言葉を探すことが必要である。教材文を読む時間と関連図書を使って調べる時間とを交互に行うことで、児童が自分の思いや 考えをもつことに強く影響した言葉や文と、自分が知るべきことについて詳しく知るために必要になる言葉や文を捉える力を養うことができると考える。

構造と内容の把握

- 書かれている内容の順序を 考えながら、内容の大体を 捉える力。
- 1. 学習課題を明確にし、学 習の計画を立てる。
- 2~3. 書かれている事柄に 着目し、説明の順序を考 えながら読む。

精查・解釈(教材文 → 関連図書)

- ・ 文章の中の重要な語や文を考えて選び出す力。
- 知りたいことに関連する本を選んで読む力。
- 知りたいことに関係のある言葉を探しながら読む力。
- 4~11. 教材文を読んで自分が興味や関心をもった事柄を 明らかにする(4、7、9)。 前時で明らかにした事柄について、関連図書を 使ってビーバーや他の動物について調べる(5、 6、8、10、11)。

考えの形成

- 調べたことから、紹介する ことをまとめる力。
- 12. 調べたことの中から紹介 することを決め、行動や 仕組みの理由及び感想 など必要な事柄と一緒 にまとめる。

共 有

- 友だちの紹介を聞いて思っ たことを伝え合う力
- できるようになったことに 気付く力。
- 13. 調べたことを友だちと紹 介し合う。また、図鑑や 科学的な本を使って調べ た学習を振り返る。

《言葉による見方・考え方を働かせるために捉えさせたい関係付けの例》 *もっと知りたいことは何かな?

言 葉

体の特徴(歯、 足、尾など)

教材文

・ 巣を作る様子

夫 他

・敵から身を守るエ

ビーバーが尾で舵を 取っているとは知らな かったな。他の動物の 尾も何かの役に立って **いるのかな。**

・文の中の大事な言葉(動物の体や巣の特徴とその働きや役目などの

関係性)に気付き、もっと知りたいことを明らかにしている姿。

言葉

- ・体の働きや役目
- ・巣の作り方の順序 や場所の工夫
- ・巣の働きや役目、 牛熊の特徴

関連図書

《言葉による見方・考え方を働かせるために捉えさせたい関係付けの例》

*動物の体には、どんなひみつや役目があるのかな?

言 葉

もっと知りたいこと

- 体の特徴
- 巣の特徴

動物の体や巣には どのような役目や働 きがあるのかな。

言 葉

- 体の役目 巣の役目
- ・生態の理由や工夫

・生態の特徴

見方・考え方を働かせる子供の姿の例

• 自分が知りたいことを明らかにし、その事柄に関連する言葉を手掛 かりにしながら関係性について調べている姿。

見方・考え方を鍛える教師の手立ての例

ビーバーが巣を作る様子について、どんな 順序で書かれているか、巣を作る順序と説 明されている事柄の順序を捉えさせる。

見方・考え方を働かせる子供の姿の例



・ビーバーの体の特徴が、大工事(巣作り)を する中で、どのような役目があるかの関係性 を捉えさせる。

・もっと知りたいことについて、関連図書を使 い、知りたいこと(特徴と役目の関係性)に ついて調べさせる。

主な資質 能力の系統

第1学年及び第2学年

◆文章の中の重要な語や文を考 えて選び出すこと。

本単元

第3学年及び第4学年

学びに向かう力、人間性等

言葉がもつよさを感じるとともに、楽しんで読書をし、国語を 大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度。

知識及び技能

- (1) 言葉の特徴や使い方に関 する事項 文や文章
- 文の中における主語と述語 の関係に気付くこと。

- 思考力、判断力、表現力等 C 読むこと イ 場面の様子や登場人物の 行動など、内容の大体を捉 えること。
- 場面の様子に着目して、 登場人物の行動を具体的に 想像すること。

本単元では〔思考力、判断力、表現力等〕Cエを指導の重点とする。

《単元末に期待する子供の姿の例》

振り返りのノート(例)

大きさをくふうすることがことができし絵を見たり、ほかのところのしたことも読んだりすると、よ音読するところだけではなくて、さ 一回目の「がまくん」は、わくわくした感じで大きな声で読みました。」といるくんは家からとび出しました。」といよろこぶところを早く見たいとたのしょろこぶところを早く見たいとたのした。「かえ わたしは三場面をするくんは家からとびまるくんは家からとびまるとんはまからとびまるといるというところで、かえると たと思 \mathcal{O} みにしていたと思っ お が ったからです。 のきてお手紙をまってほしかかまくんがおきてくれなかっ日は、よびかけるように読み まくん」は、 たからです。 どた。 かっみ ったま

《主たる教材例》「お手紙」(東京書籍2年下)

《個々の子供の状況に応じた配慮》

- ◇登場人物の会話が区別できるように、教材文の会話文に色別の シールを貼る。
- ◇教材文の全文が見渡せるようにした用紙を準備し、考えの根拠 となる部分にサイドラインを引くことができるようにする。

《他教科等との関連》

主な資質

能力の系統

【特別の教科 道徳】第1・2学年

OB 主として人との関わりに関すること

資質・能力を身に付けるための言語活動例

言語活動 ●「お手紙」の音読劇をしよう ~叙述を基に、登場人物の行動や表情・□調・様子等を具体的にイメージしたり、行動の理由を想像したりする~

本単元では、叙述を基に登場人物の行動等を想像して音読劇で伝える言語活動を設定している。本教材の特徴として、物語の大体が会話文で構成されてい るため、音読劇で表現するのに適している。また、児童の発達段階を踏まえ、音読劇は、興味・関心をもって取り組める活動であると捉える。 音読劇は、登場人物の様子を、声の強弱や口調等の工夫によって表現することが求められる。そのためには、登場人物の行動等を叙述から具体的に想像す ることが必要であるため、本単元で、身に付ける力を育成することができると考える。

構造と内容の把握

- 主語と述語の関係に気付く力。 ・物語を大づかみに捉える力。
- 1. 教師による既習の物語の音読劇を 見て、単元のゴールイメージと学 習に対する意欲をもつ。
- 2~3. 叙述や挿絵を手掛かりに、主 語と述語の関係に気を付けて、誰 が何をしたのかをまとめる。

精查•解釈

- ・場面の様子に着目して、登場 人物の行動や表情・口調・様 子等を具体的に想像する力。
- 4~5. 登場人物の行動や表情等 を具体的に想像し、どのよう な読み方をするのか考える。

考えの形成

- ・想像したことと自分の体験 とを結び付けて、音読等の 工夫を考える力。
- 6~7.3 人のグループで音読し たい場面を選び、練習をする。

共有

- ・友達や自分の音読の工夫の よさに気付く力。
- 8~9. お互いの音読劇を見て、感 想を伝え合い、想像したことを 表現できていたか振り返る。

《言葉による見方・考え方を働かせるために捉えさせたい関係付けの例》

*がまくんが言った、1場面の「ああ。」と4場面の「ああ。」は同じ読み方で いいかな?

言葉

1場面の「ああ。」 4場面の「ああ。」

それぞれの場面の二 人の会話やしたこと を読むと、違う読み 方だと思うよ。挿絵 もよく見ると、同じ 場所なのに二人の顔 が違っているね。

言葉

1場面の様子 4場面の様子

見方・考え方を働かせる子供の姿の例

• 各場面の様子と叙述に着目して、共通点や相違点を認識しながら読み方 を考えている姿。

子供のノート (例)

| わけ | うごき | 読み方 | しんば | | |
|--|--------------------|-----------|------|------|--|
| ・がまくんが、お手紙をまっているときがかなしいと 一回もいっているから。 ・がまくんが「ふしあわせな気もち」と言っていたから。 ・がまくんが「お手紙なんか」と言っているからら。 | かたをだらんとおとして。うつむいて。 | かなしそうに。 | 「ああ」 | 一場めん | |
| ・かえるくんが、がまくんにお手紙を書いてくれたことが分かってうれしいから。 ・はじめてお手紙がもらえるから、うきうきしている。 ・かえるくんが、がまくんのことを「親友」と書いてくれてかんどうしているから。 | にこにこしながら。 | すごく大きな声で。 | 「ああ」 | 四場めん | |

見方・考え方を鍛える教師の手立ての例

各場面の挿絵を提示し、それぞれの場面で 誰が、何をしたかを表にまとめさせる。



- ・1 場面と4 場面の挿絵の共通点や相違点に 着目させ、その理由を叙述に基づいて考え させる。
- ・感想カードを準備し、友達の音読劇のよさ とその理由を記入して渡し合うことで、友 達や自分の読みのよさに気付かせる。

第1学年及び第2学年

◆場面の様子に着目して、登 場人物の行動を具体的に想 像すること。

元

第3学年及び第4学年

情景について、場面の移り変わり と結び付けて具体的に想像する 考えたりすること。 こと。

第5学年及び第6学年

◆登場人物の気持ちの変化や性格、 |◆人物像や物語などの全体像を具 |◆目的に応じて必要な情報に着目して要 体的に想像したり、表現の効果を

中学校第1学年

- 約したり、場面と場面、場面と描写など を結び付けたりして、内容を解釈する こと。
- ◆文章の構成や展開、表現の効果につい て、根拠を明確にして考えること。

中学校第2学年

- ◆目的に応じて複数の情報を整理しながら適∥◆文章を批判的に読みながら、文章 切な情報を得たり、登場人物の言動の意味 などについて考えたりして、内容を解釈す ること。
- ◆観点を明確にして文章を比較するなどし、 文章の構成や論理の展開、表現の効果につ いて考えること。

中学校第3学年

- に表れているものの見方や考え方 について考えること。
- ◆文章の構成や論理の展開、表現の 仕方について評価すること。

学びに向かう力、人間性等

言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切 にして、思いや考えを伝え合おうとする態度。

知識及び技能

- (1) 言葉の特徴や使い方に関す る事項 語彙
- オ 様子や行動、気持ちや性格 を表す語句の量を増し、話や 文章の中で使うとともに、言 葉には性質や役割による語句 のまとまりがあることを理解 し、語彙を豊かにすること。

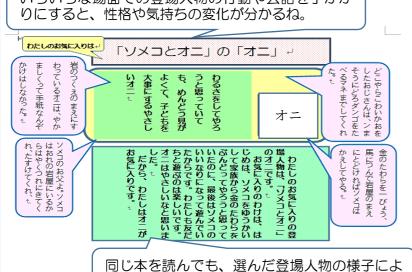
思考力、判断力、表現力等

- C 読むこと
- エ 登場人物の気持ちの変化や 性格、情景について、場面の 移り変わりと結び付けて具体 的に想像すること。
- オ 文章を読んで理解したこと に基づいて感想や考えをもつ こと。

本単元では〔思考力、判断力、表現力等〕Cオを指導の重点とする。

《単元末に期待する子供の姿の例》

いろいろな場面での登場人物の行動や会話を手がか



ってお気に入りの理由がちがうね。

《主たる教材例》「モチモチの木」(東京書籍3年下)

《個々の子供の状況に応じた配慮》

- ◇性格を考える際に、根拠とする叙述の箇所がすぐに確認できる ように、付箋を活用する。
- ◇関連図書教材を選ぶ際には、児童にとって内容が簡潔で分かり やすいものも用意しておく。

《他教科等との関連》

【特別の教科 道徳】第3.4学年

○主として自分自身に関すること

資質・能力を身に付けるための言語活動例

言語活動 ●お気に入りの登場人物をポスターでしょうかいしよう

~複数の叙述から登場人物の性格について想像し、お気に入りの登場人物を選んだ理由を紹介する~

本単元では、自分が探したお気に入りの登場人物をポスターで紹介する活動を設定する。自分のお気に入りの登場人物を紹介するためには、その登場人物 の性格を読み取る必要がある。人物の性格は、ある一場面だけから読み取るだけでなく、場面の移り変わり、人物の行動や会話など、複数の叙述を結び付け て読むことで、より迫ることができる。そして、読み取ったことと、自分の体験を結び付けた「お気に入りの理由」を書くことで、自分の考えが表れるポス ターになる。それを紹介し合うことで、一人一人の感想やお互いの考え方のよさや違いにも気付けることから、資質・能力の育成を目指せる活動だと考える。

構造と内容の把握

- ・叙述をもとに、登場人物の行動 を整理する力。
- 1~4. 学習の見通しをもつ。
- ・初発の感想を書く
- 単元のゴールイメージをもつ
- 自分が紹介する本を選ぶ
- お気に入りの人物を見付けながら、 場面ごとの登場人物の行動や会話、 心情をノートに整理し、あらすじ を捉える。

精查 • 解釈

- ・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やし、 話や文章の中で使う力。
- 複数の叙述を関連付けて登場人物の性格を考える力。
- 5~7. 『モチモチの木』の登場人物の性格について読み取り 話し合う。
 - 根拠となる複数の叙述を関係付けてお気に入りの人物 の性格を考え、ポスターの上段に書く。
 - 友だちと考えを交流する。
 - 教科書付録「言葉の広場」を参考にし、登場人物の行 動、気持ち、性格を表す語句を使って、登場人物につ いてまとめる。

考えの形成・共有

- 自分がその登場人物を気に入っている理由につい て、教科書教材や関連図書教材を読んで考えたこ とや自分の体験などと結び付けて表現する力。
- 8~12. ポスターを完成させ、交流する。
 - ・『モチモチの木』で読み取った登場人物の性格 をもとに、お気に入りの理由をポスター下段に 書き、交流することで考えの違いに気づく。
- 関連図書教材のお気に入りの登場人物を紹介す るポスターを作り、友だちと交流し合う。

お気に入りの登場人物を探したり、登場人物の性格が分かるところに付箋をつけたりしながら、関連図書教材を読む。

《言葉による見方・考え方を働かせるために捉えさせたい関係付けの例》

*なぜお気に入りなのか、理由をはっきりさせよう。

言 葉

- ・場面の様子を表す 叙述
- 登場人物の行動や 会話などの叙述

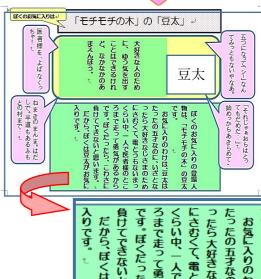
いざとなったら一人で 立ち向かうし、勇気があ

るから、豆太がお気に入 りだよ。ぼくなら、怖さに 負けてできないな。

対 象

- ・読み取った登場人 物の性格・考え方
- 自分の経験

豆太はいつもじ さまに頼ってば っかりで本当に 甘えん坊なんだ けど、勇気を出 すときはきちん と出せるんだ な。ぼくだった らこわくてでき ないな。



私の読んでいる「ソ メコとオニ」のオニ は、始めはソメコを 誘拐しようとしてい たのに、最後はソメ コの言いなりになっ ていて、本当はやさ しいんだと思った

で物は、ほん 「モチモチ 入りの



見方・考え方を働かせる子供の姿の例

・第二次で読み取った登場人物の様子や行動、会話と豆太の性格や考え 方、自分の体験などを結び付け、登場人物のお気に入りの理由を文章で 表現している姿。

くて、電とうもないまった好きなじさまのためい五才なのに、いざとないたとないない。 人で医者様のよくであるがあるが

見方・考え方を鍛える教師の手立ての例

•お気に入りの人物を見付けながらあらすじ を捉え、登場人物のどんな気持ちが読み取 れるのか場面ごとに整理させる。

お気に入りの登場人物の行動や気持ちについ て複数の叙述に着目して読ませることで、よ り具体的に登場人物の性格を捉えさせる。



•自分が選んだ登場人物のおすすめの理由を、自 分の体験や既習の内容、文章から読み取ったこ とをもとに考えさせる。

第1学年及び第2学年

◆文章の内容と自分の体験とを結び 付けて、感想をもつこと。

完

第3学年及び第4学年

と。

第5学年及び第6学年

◆文章を読んで理解したことに | ◆文章を読んで理解したことに基づ 基づいて、感想や考えをもつこいて、自分の考えをまとめること。

中学校第1学年

◆文章を読んで理解したことに基づ ◆文章を読んで理解したことや考え いて、自分の考えを確かなものに すること。

中学校第2学年

たことを知識や経験と結び付け、 自分の考えを広げたり深めたりす ること。

中学校第3学年

◆文章を読んで考えを広げたり 深めたりして、人間、社会、 自然などについて、自分の意 見をもつこと。

学びに向かう力、人間性等

言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にし て、思いや考えを伝え合おうとする態度。

知識及び技能

- (2) 情報の扱い方に関する 事項 情報の整理
- イ 比較や分類の仕方、必 要な語句などの書き留め 方、引用の仕方や出典の 示し方、辞書や事典の使 い方を理解し使うこと。

思考力、判断力、表現力等

- B 書くこと
- ア 相手や目的を意識して、経験し たことや想像したことなどから書 くことを選び、集めた材料を比較 したり分類したりして、伝えたいこ とを明確にすること。
- イ 書く内容の中心を明確にし、内 容のまとまりで段落をつくった り、段落相互の関係に注意したり して、文章の構成を考えること。

本単元では〔思考力、判断力、表現力等〕Bイを指導の重点とする。

《単元末に期待する子供の姿の例》

なぜプールは25mなの? 3年2組 高知 たろう

調べた理由

ぼくは、どうして学校のプールは25mなのか、20mではだめなの か、とても気になったので調べてみました。

- 3 調べて分かったこと (1)学校のプールの薄額

本で調べると、学校のプールはどこも25mか50mとなっており、学 校のプールを作るときのきまりということが分かりました。

(2)25mの理由

世界中で行われる水泳のきょうぎは、100mや200mが多いので、 100mのきょうぎの練習をするとき、25mプールだと2おうふく、50m プールだと1おうふくでちょうど100mになるから、25mや50mプール がいいことが分かりました。

先生に聞くと、「20mだと、2おうふくしてもちょうど100mにならない から、25mの方が使いやすいね。」と言っていました。

4 調べた感視

調べるときに使った本 [000]

レポートには、 「題(調べたこと)」 「調べた理由」「調べ 方」「調べて分かっ たこと」「調べた感 想」の順で、書くと 分かりやすいね。

調べて分かったこ とを分かりやすく伝 えるためには、どの ような内容や組み立 てで書くとよいか考 え、整理して書く必 要があるんだな。

《主たる教材例》「調べて書こう、わたしのレポート」(東京書籍3年上)

《個々の子供の状況に応じた配慮》

- ◇児童の普段の会話の中から、学校生活の中で不思議に感じることを 例としていくつか取り上げ、類似する内容を本単元の学習までに集 めさせておく。
- ◇「調べることメモ」の内容が、「レポートの組み立て」のどこに当た るのかが分かるように、内容別に色分けをしておく。

《他教科等との関連》

【総合的な学習の時間】第3学年

○知りたいことに応じた方法で調べ、調べたことを比較したり、分 類したりして、自分の考えをまとめて書く活動。

第3学年及び第4学年

◆書く内容の中心を明確にし、内容の の構成を考えること。

第5学年及び第6学年

یے

中学校第1学年

◆書く内容の中心が明確になるよう に、段落の役割などを意識して文 章の構成や展開を考えること。

見方・考え方を働かせる子供の姿の例

中学校第2学年

るように、段落相互の関係などを 明確にし、文章の構成や展開を工 夫すること。

中学校第3学年

◆文章の種類を選択し、多様な読み 手を説得できるように論理の展開 などを考えて、文章の構成を工夫 すること。

資質・能力を身に付けるための言語活動例

言語活動 ●ふしぎ!気になる!調べたい!「学校のふしぎレポート」で伝えよう

~伝えたいことを明確にし、内容のまとまりを押さえて文章の構成を考える~

本単元では、自分たちの学校のいろいろな「ふしぎ」について調べたことをレポートにまとめ、報告する言語活動を設定する。レポートにまとめるために は、調べたいこととその理由をはっきりともち、解決のための情報を集めることが必要である。次に、取材や観察をして集めた情報を、比較、分類、整理する 活動を通して、自分が伝えたい内容を明確にしていく。また、内容のまとまりを押さえ、分かりやすく伝える文章の構成を考えることも必要であることから、 本単元で身に付ける力を育成するのに適した言語活動であると考える。

題材の設定、情報の収集、 内容の検討

- 自分が調べたいことを探す力。
- 情報を集める力。
- ・ 必要な情報を選ぶ力。
- 1. 調べたことをレポートにして報 告し合う「学校のふしぎレポート交 流会」について知り、課題解決への 見通しをもつ。
- 2. 学校生活の中で不思議に感じて いることを見付け、その中からレポ ートに書くことを選ぶ。
- 3. 不思議を解決するために、本で 調べたり、取材したり、観察した りして情報を集める。
- 4. 自分が調べたいことと集めた情 報が合っているかを考え、必要な 内容を選ぶ。

調べることメモ

3年2組 高知たろう

| 調べたい | どうやって | 順位 |
|------|-------|----|
| ふしぎ | 調べる? | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

構成の検討

- 調べて分かったことを内容のま とまりごとに整理する力。
- レポートの組み立てを考える力。
- 5~6. 調べて分かったことを分かり やすく伝えるにはどのような構成 したらよいかを考え、組み立てメ モを作る。

考えの形成、記述

事柄同士の関係を押さえ、見 出しを活用して書き表す力。

7~8. 組み立てメモを基に、 伝えたいことが明確になる ように、工夫して書く。

共 有

- ・自分の文章のよいところに 気付く力。
- 9. 友達とレポートを読み合って意見 を伝え合い、よりよい表現に書き直
- 10. 他の学級と「学校のふしぎレポー ト交流会」を行い、感想を伝え合う。

3年2組 高知 たろう

組み立てメモ(例)

題(調べたこと)

《言葉による見方・考え方を働かせるために捉えさせたい関係付けの例》

*どんな組み立てで書くと、分かりやすく伝わるのかな?

対 象

プールの長さ (調べたこと・伝 えたいこと)

分かりやすく伝えるた めには、「調べた理由」と 「調べて分かったこと」を 続ける組み立てがいいか な?感想は、その後にした らよさそうだな。「調べ方」 はどこに入れようかな?

言葉

- 題(調べたこと)
- ・調べた理由
- ・調べ方
- 調べて分かったこと
- ・調べた感想
- 調べるときに使った本

2 調べ方

3 調べて分かったこと (1)....

1 調べた理由

- $(2)\cdots$ $(3)\cdots$
- 4 調べた感想
- 5 調べるときに使った本

・レポートの特徴を理解し、それぞれの部分に書く内容を確かめ(項目と情 報の一致)、項目と項目の関係に気を付けて、文章の構成を考えている姿。

見方・考え方を鍛える教師の手立ての例

集めた情報が調べたいことと合って いるかを「調べることメモ」と比べ て考えさせる。

・個人で組み立てメモの項目を考えるときのヒントとなるよう、伝え たいことと調べた内容が合っていない組み立てメモや、項目がたく さんある組み立てメモを例にして、着目ポイントを可視化する。

友達のレポートにアドバイスが言え るよう、読み合う時の視点を示す。

第1学年及び第2学年

◆自分の思いや考えが明確にな るように、事柄の順序に沿っ て簡単な構成を考えること。

まとまりで段落をつくったり、段落 相互の関係に注意したりして、文章

◆筋道の通った文章となるように、 文章全体の構成や展開を考えるこ

◆伝えたいことが分かりやすく伝わ

学びに向かう力、人間性等

言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に して、思いや考えを伝え合おうとする態度。

知識及び技能

- (1) 言葉の特徴や使い方に関 する事項 文や文章
- カ 主語と述語との関係、修 飾と被修飾との関係、指示 する語句と接続する語句の 役割、段落の役割について 理解すること。

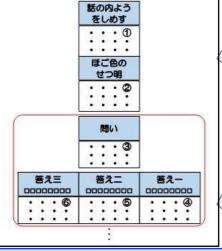
思考力、判断力、表現力等

- C 読むこと
- ア 段落相互の関係に着目し ながら、考えとそれを支える 理由や事例との関係などに ついて、叙述を基に捉えるこ
- ウ 目的を意識して、中心と なる語や文を見付けて要約 すること。

本単元では〔思考力、判断力、表現力等〕Cアを指導の重点とする。

《単元末に期待する子供の姿の例》

カードを並べた文章構成図(例)



形式段落には、それ ぞれ役割があることが 分かったよ。「問い」と 「答え」の関係に気を 付けて読むと、まとま りがわかるよ。

筆者は「問い」と「答 え」の後に、まとめを 書いて説明をしてい たよ。説明文を読むと きには、段落と段落の 関係に着目して読む といいんだな。

《主たる教材例》「自然のかくし絵」(東京書籍3年上)

《個々の子供の状況に応じた配慮》

◇形式段落ごとに文章を切り分けたカードを作成し、内容のまと まりを意識させる。

《他教科等との関連》

- 【生活】第1・2学年
- ○動物を飼ったり植物を育てたりする
- 【理科】第3学年
- ○生物が生息している様子を調べる

◆段落相互の関係に着目しなが 述を基に捉えること。

中学校第1学年

◆文章の中心的な部分と付加的な 部分、事実と意見との関係などに ついて叙述を基に捉え、要旨を把 握すること。

中学校第2学年

しながら、主張と例示との関係 や登場人物の設定の仕方などを 捉えること。

中学校第3学年

◆文章の種類を踏まえて、論理や 物語の展開の仕方などを捉える こと。

資質・能力を身に付けるための言語活動例

言語活動 ●分かりやすい説明文の秘密を見付けよう ~指示語と接続語の役割を押さえ、段落の役割や段落相互の関係を捉える~

本単元では、内容が理解しやすく、筆者の説明がよく分かる説明文とそうでない説明文を比べて読み、「なぜ、分かりやすいのか」という秘密を見付けて友 達に説明する言語活動を設定している。分かりやすさの秘密を見付けるには、各形式段落の内容を把握したうえで、段落相互の関係に着目しながら筆者の説 明の工夫を捉える必要がある。そのための手立てとして、教材文を形式段落ごとに切り分けてカード化し、段落を視覚的に認識しやすくする。形式段落の役 割を捉えてカードを並べることで意味段落へと理解を進め、さらに、段落相互の関係に着目して、文章構成を捉える力を付けることができると考える。

構造と内容の把握

- ・指示語や接続語の役割を押さえ て段落の役割を捉える力。
- 1. 二つの説明文を読み比べ、「分 かりやすい説明文の秘密を見付 ける」という学習課題を明確に し、学習の計画を立てる。
- 2. 指示語や接続語の役割を押さえ たり、文末表現に着目したりし て、形式段落の役割を考える。

精查•解釈

- ・形式段落の中心となる語や文を 捉えて、まとめる力。
- 3~4. 各形式段落の大事な言葉や 中心文を見付け、ワークシート にサイドラインを引き、短くま とめる。

構造と内容の把握

- ・段落の役割や内容のまとまりに 着目しながら、段落相互の関係 を捉える力。
- 5~6. ワークシートを切った力 ードを並べて整理しながら、 段落の役割や段落相互の関係 (文章構成図)を考える。

考えの形成、共有

- ・文章構成の工夫について分かっ たことや感想を述べる力。
- できるようになったことに気付く
- 7~8. カードを使って、文章のどこ に着目し、段落と段落がどのよう な関係にあるのかを伝え合う。ま た、文章を読んで分かったことや 思ったことを伝え合い、学んだこ とやこれからの学習に生かしたい ことを振り返る。

カードを並べた

文章構成図(例)

《言葉による見方・考え方を働かせるために捉えさせたい関係付けの例》

*-つ一つの段落には、何が書かれていて、どんな関係になっているのかな?

言 葉

• 問い: ③段落 「昆虫は、保護色によっ て、どのように敵から 身を隠しているのか。」

③段落の問いに対し て、④~⑥段落で三つの 例を示して説明してい るな。

言 葉

• 答え: 456段落 ④コノハチョウの羽は・ ⑤トノサマバッタは… ⑥ゴマダラチョウの幼虫

ワークシート・カード (例)

答え二 答えー (ゴマダラチョウ (トノサマバッタ) (コノハチョウ) 問い

1 ほご色のせつ明 2 の幼虫の例) の例) の例) 3 間い 6 5 4 答え 7 まとめ 身をする 8 問い 10 0 9 答え 12 まとめ

見方・考え方を働かせる子供の姿の例

- ・指示語と接続語の役割を理解し、それを使って段落の役割を捉えてい
- 「問い」と「答え」の関係に着目し、文章全体の構成を捉えている姿。

見方・考え方を鍛える教師の手立ての例

- 指示語や接続語、文末の働きや意味に着目さ せ、文や文章のつながりや関係性を考えさせ
- 繰り返し出てくる言葉や題名とつながりがあ る言葉に着目させ、大事な言葉や文を見付け させたり、写真と文章を結び付けて読ませた りする。
- 接続語に着目させ、意味のつながりを考えて カードを並べさせ、文章全体の構成を考えさ

第1学年及び第2学年

◆時間的な順序や事柄の順序な どを考えながら、内容の大体 を捉えること。

第3学年及び第4学年

ら、考えとそれを支える理由や 事例との関係などについて、叙

第5学年及び第6学年

◆事実と感想、意見などとの関係を 叙述を基に押さえ、文章全体の構 成を捉えて要旨を把握すること。

◆文章全体と部分との関係に注意

学びに向かう力、人間性等

言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切 にして、思いや考えを伝え合おうとする態度。

知識及び技能

- (2) 情報の扱い方に関する事項 情報の整理
- イ 比較や分類の仕方、必要な語 句などの書き留め方、引用の仕 方や出典の示し方、辞書や事典 の使い方を理解し使うこと。

思考力、判断力、表現力等

A 話すこと・聞くこと エ 必要なことを記録したり 質問したりしながら聞き、 話し手が伝えたいことや自 分が聞きたいことの中心を 捉え、自分の考えをもつこ

本単元では〔思考力、判断力、表現力等〕A 工を指導の重点とする。

《単元末に期待する子供の姿の例》



メモを見返して、「理由」や「質問した答え」を 書き加えると、より分かりやすいメモになったよ。

3年生に梅ジュースの作り方を正確に伝え るためには、聞きたいことを整理して聞くこ とが大切だね。





聞き取ったことのメモを見返して、分からなかった ことやもっと詳しく知りたいことを確認して、質問す ることも大事だね。

《主たる教材例》「たしかめながら話を聞こう」 メモの取り方

(東京書籍4年上)

《個々の子供の状況に応じた配慮》

- ◇聞き取ることに特別な配慮が必要な児童には、聞き取る話の内容を あらかじめ文章化したものを個別に渡し、読んで理解できるように 支援する。
- ◇話のまとまりを整理することが困難な児童には、構成ごとに整理し やすいように区切りを入れたメモ用紙を個別に配る。

《他教科等との関連》

【外国語】第4学年

○自分や相手の好みや欲しい物などについて、簡単な質問をしたり 質問に答えたりする活動

【社会】第4学年

○清掃工場や地域の図書館への社会科見学

資質・能力を身に付けるための言語活動例

言語活動 ●学校伝統の「梅ジュースの作り方」を3年生に教えてあげよう

~必要なことを記録したり質問したりしながら、自分が聞きたいことの中心を捉え、分かりやすく伝える~ 本単元では、学校の伝統を引き継ぐために、梅ジュースの作り方を3年生に伝えるという言語活動を設定している。目的(学校の伝統を引き継ぐため)や相手

(3年生)を明確にすることで、「どのような内容を伝えればよいか」ということを思考する必然性が生まれる。 また、梅博士にインタビューをする場を設定することで、聞きたいことの中心を確かめた上でメモを取ったり、そのメモを生かして3年生に伝えたりする力が 高まることから、本単元で身に付ける力を育成できると考える。

話題の設定、情報の収集

- ・メモの取り方には、聞 いた話の内容が分かり やすくなるコツがある ことに気付く力。
- 1.3年生に梅ジュースの作り 方を分かりやすく教えるとい う学習課題と見通しをもち、 メモの整理の仕方を確認する。
- 自分が聞きたいことの 中心を明確にし、必要 な情報を聞き取る力。
- 2.3年生に伝えるために梅 博士から聞きたいことを整 理して説明を聞き、メモを 取る。

構造と内容の把握、精査・解釈、考えの形成、共有

- ・メモを基に話の内容を 振り返り、分からない ことや確認したいこと を質問する力。
- 3. 作成したメモを基に、分 からなかったことや確認し たいことを確かめ、梅博士 に質問して、メモに付け加 える。
- 相手に伝えようとする 事柄に不足がなく聞き 取ることができている か確認する力。
- 4. 班の友達と、メモを生 かして3年生に伝える練 習をする。
- 必要な情報を聞き取る ための方法や考え方と それらを活用すること ができる場面に気付く カ。
- 5. 単元全体を振り返り、 できるようになったこと やこれから活用していき たい場面を学級全体で共 有し、学習の貯金として まとめる。

《言葉による見方・考え方を働かせるために捉えさせたい関係付けの例》

*3年生に分かりやすく梅ジュースの作り方を教えるためには、今取ってい るメモの内容で十分かな?

言葉

前時までに聞き 取って書いてい る自分のメモの内

3 年生が上手に作れ るように伝えるために は、分からなかったこ とやもっと詳しく知り たいことがあるから、 質問することを整理し ておく必要があるな。

言葉

- 材料 分量手順
- 作り方やその理由

見方・考え方を働かせる子供の姿の例

・一度聞き取った内容を見返して不足している情報を整理し、梅博士に 質問している姿。

板書(例)

○○分間 0 (-----聞き逃したこと 分からなかった ・時間、日にち ・分量、大きさ ・大きさ ・フとくわしく ・大きさ

質問 言葉を

必要な情報を集

葉

横ジュースの作り方 横 1 kg びん (大き がさとう 1 kg ざる ふき す 少々 竹ぐし 作り方 1 人たを取る くし キズ× ① かわかす しばらく | 一 ② あらう よくふく! | 一 ② かわかす しばらく | 一 ③ かわかす しばらく | 一 ③ かわかす しばらく | 一 ○ しょとう入れる じゅん 上のはし さとう多め 上のはし さとう多め ときどきまぜる | 一 ときどきませる | 一 キズ× ふ大き 何となぜ? 何となぜ? 何となぜ? のくらい? に? ? 何と 00 ? < らい

見方・考え方を鍛える教師の手立ての例

・不十分なメモのモデルを使って3年生での 学習を想起させ、メモを取る時の工夫を確 認させる。

・順序や時間、分量、理由などを表す言葉に着 目させ、より詳しく聞きたいことをメモに書 き込ませる。

3年生に伝えるための情報が不足していない か、メモを取りながら友達の説明を聞かせ

第1学年及び第2学年

◆話し手が知らせたいことや自 分が聞きたいことを落とさな いように集中して聞き、話の内 容を捉えて感想をもつこと。

第3学年及び第4学年

◆必要なことを記録したり質問した りしながら聞き、話し手が伝えた いことや自分が聞きたいことの中 心を捉え、自分の考えをもつこと。

第5学年及び第6学年

◆話し手の目的や自分が聞こうとする 意図に応じて、話の内容を捉え、話 し手の考えと比較しながら、自分の 考えをまとめること。

中学校第1学年

◆必要に応じて記録したり質問した りしながら話の内容を捉え、共通 点や相違点などを踏まえて、自分 の考えをまとめること。

中学校第2学年

◆論理の展開などに注意して 聞き、話し手の考えと比較 しながら、自分の考えをま とめること。

中学校第3学年

◆話の展開を予測しながら聞き、 聞き取った内容や表現の仕方を 評価して、自分の考えを広げた り深めたりすること。

学びに向かう力、人間性等

言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大 切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする態度。

知識及び技能

- (2) 情報の扱い方に関する事項 情報の整理
- イ 情報と情報との関係付けの 仕方、図などによる語句と語 句との関係の表し方を理解し 使うこと。

思考力、判断力、表現力等

- A 話すこと・聞くこと
- 話の内容が明確になるよう に、事実と感想、意見とを区 別するなど、話の構成を考え ること。
- 資料を活用するなどして、 自分の考えが伝わるように表 現を工夫すること。

本単元では〔思考力、判断力、表現力等〕Aイを指導の重点とする。

《単元末に期待する子供の姿の例》

自分が伝えたいことを分かりやすく伝えるために は、伝えたいことの根拠になる資料や体験を組み合 わせて話すと、具体的にイメージしてもらえるね。



より説得力を増すためには、複数の資料か ら、大切な言葉や具体的な数値を引用するこ とも効果的だね。





資料や体験から話せる事実の部分と、そこから自 分が考えた意見や感想の部分とを、分けて話すと聞 く人が分かりやすいから、自分が伝えたいことをよ り分かってもらえるよね。

《主たる教材例》「資料を見て考えたことを話そう」(東京書籍5年)

《個々の子供の状況に応じた配慮》

- ◇事実と考えを区別して捉えるという一つ一つの資料の読み方ができ るように、グラフや表を準備して視覚的な支援をする。
- ◇文章構成の捉えが苦手な児童には、意味段落のまとまりを四角囲み した教材文を準備する。一文一文の働きの捉えが苦手な児童には、 結論部分を一文ずつ改行した教材文を準備する。

《本単元の関連領域》

第5学年

力の

系統

○事実と考えを区別しよう・環境問題について報告しよう(書く)

《他教科等との関連》

【総合的な学習の時間】第5学年

○ぼくたち・私たち「潮江菜ひろめ隊」!

◆相手に伝わるように、行動した ◆相手に伝わるように、理由や事例

第3学年及び第4学年

などを挙げながら、話の中心が明 確になるよう話の構成を考える こと。

言語活動

●潮江菜ひろめ隊!一地域の伝統野菜の魅力を発信しよう一

~自分の考えの中で最も伝えたいことを、資料と関係付けて、考えが明確に伝わるように話す~

本単元では、総合的な学習の時間で取り組んできた地域の伝統野菜の魅力を、たくさんの人に知ってもらうために、話し方の構成や資料を工夫して分かりやすく伝える言 語活動を設定する。生産者の方から「伝統野菜を知らない人たちに宣伝をして欲しい」という依頼を受けた子供たちに、その魅力を知ってもらったり、買ってもらったりす るにはどう宣伝すればよいのかという問いを持たせる。そして、一人一人が考える、最も伝えたいこと(歴史や背景・栄養価・食べ方・生産者の情熱・広めるための取組な ど)を明確に伝えるために、話の構成を工夫したり、考えの基になる資料や自分の体験と関係付けたりしながら話すことで、国語科の資質・能力を育成できると考える。

資質・能力を身に付けるための言語活動例

話題の設定、情報の収集、 内容の検討

- ・ 選んだ資料を分類・整理 し、自分が最も伝えたい ことを決める力。
- 1. 発信の目的・相手・相手に 期待すること・ゴールの具体 的イメージを明確にし、単元 全体の問いと見通しをもつ。
- 2. 選んだ資料から分かったこ と(事実)と、それに対する 意見や感想とを分けて表に整 理し、自分が最も伝えたいこ とを決めて話す練習をする。
- 自分が最も伝えたいことと資 料や体験を関連付けて、話す ための構成メモを作る力。
- 3~4. 最も伝えたいことは 何か、どの資料や体験から 考えたのか、関連を考えて 構成メモを作成して話す練 習をする。
- 最も伝えたいことを明確
- にすること。 ・伝えたいことの基となる 資料や体験を選ぶこと。
- ・構成メモを基に、発表原 稿を書くこと。

構成の検討、考えの形成

- 資料の中の大切な言葉や具体 的な数値を引用することで、 説得力を高めて話す力。
- 5. 伝えたいことをより分か て話す練習をする。
- ・自分が使う資料の中で 伝えたいことと関連の ある大切な言葉や具体 的な数値を選ぶこと。
- 加えること。

表現、共有

- ・ 事実と意見や感想とを区別し 単元全体を振り返り、資料と関 て話すことで、最も伝えたいことを明確に伝える力。 連付けて分かりやすく話すコツ や活用場面を取り出す力。
 - 7. 実際の「土佐野菜マル シェ」での活動や単元全 体を振り返り、できるよ うになったことやこれか ら活用していきたいと考 える場面やスキルを学級 全体で共有し、学習の貯 金としてまとめる。

- りやすくするために、発表 原稿の本論の部分を見直し
- 選んだ資料と自分の体 験を関連付けて、話に
- こと。(意見や感想)

総合的な学習の時間 ぼくたち・私たち「潮江菜ひろめ隊」! との関連

《言葉による見方・考え方を働かせるために捉えさせたい関係付けの例》

*「土佐野菜マルシェ」の来場者に「潮江菜」の魅力をより分かりやすく 発信するためには、どのように話せばよいのかな?

言葉

- 結論部分の一文 一文の働き
- ◆本論を要約する ◆体験と関連させる
- ◆自分の考えを伝える

結論の一文一文は、 それぞれに役割があ って、資料などとも関 係し合っているから 分かりやすいんだな。

言葉

の文章や情報

• 序論、本論、資料

見方・考え方を働かせる子供の姿の例

結論部分の一文一文の働きを、序論・本論・複数の資料と関係付け て捉え、自分が発信する話の中に取り入れている姿。

事実と意見や感想とを区別して話すためのポイント(例)

6. 伝えたいことをより分か

て話す練習をする。

と。(事実)

一文目には本論の要

りやすくするために、発表

原稿の結論の部分を見直し

約、二文目には関連す

る自分の体験を書くこ

・三文目には、自分が最

も伝えたいことを書く

2 1 分 本論2 本論 1 序論 結論 三文目 文目 文結り 三文目 文目 要約 を記している。 にめのポイン にものように ない のように ない のように ない のように ない にものが、イン 関連 で始める 二文目 るい る る 資料 資料 感想 資料

見方・考え方を鍛える教師の手立ての例

- 資料から分かる事実と、それに対する自分 の意見をもたせることで、「最も伝えた い」ことを明確にもたせる。
- 分かりやすく伝わる話し方のグッドモデルと不 十分モデルを比較することで、より説得力のあ**▮** る話し方の工夫に気付かせる。
- ・ 文章と資料の関係性を矢印や働きを表すキー ワードを用いて視覚化して示すことにより、 伝えるためのポイントのよさを実感させる。

第1学年及び第2学年

ことや経験したことに基づい て、話す事柄の順序を考えるこ と。

第5学年及び第6学年

◆話の内容が明確になるよう に、事実と感想、意見とを区別 するなど、話の構成を考える こと。

中学校第1学年

うに、話の中心的な部分と付加的な 部分、事実と意見との関係などに注 意して、話の構成を考えること。

中学校第2学年

◆自分の考えや根拠が明確になるより◆自分の立場や考えが明確になる ように、根拠の適切さや論理の 展開などに注意して、話の構成 を工夫すること。

中学校第3学年

◆自分の立場や考えを明確にし、 相手を説得できるように論理の 展開などを考えて、話の構成を 工夫すること。

学びに向かう力、人間性等

言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の 大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする態度。

話題の提示のみ

- (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項
- 語彙 オ 思考に関わる語句の量を増し、話や 文章の中で使うとともに、語句と語句 との関係、語句の構成や変化について 理解し、語彙を豊かにすること。ま た、語感や言葉の使い方に対する感覚 を意識して、語や語句を使うこと。

思考力、判断力、表現力等 B 書くこと

エ 引用したり、図表や グラフなどを用いたり して、自分の考えが伝 わるように書き表し方 を工夫すること。

《単元末に期待する子供の姿の例》

と、つ う例もあるそうです さ計 にも「BBC」ュース」によると、「打ち上げられたクジラの死体から、 を生き物が食べているのです 」のゴミがおよそ7百種類にもおよぶ海洋生物に影響しているといわ ていることを知っていますか。 みなさ 中から、 十キログラムにもなる大量のプラスチック袋が見つかった。 例えば、資料

「話題の提示」のまと まりには、読み手を引 きつける問いかけの文 章と、知ってもらいた い現状を書いた。

環境省の調ぐによると、海洋ゴミの65.8%はプラスチックゴミで とを知っていますか。海にたくさんのゴミが流れており、んは、海に住むたくさんの生き物が、ゴミを食べて命を ルのふたやプラスチックのストローなども見られます。 たくさんのプラスチックゴミが出てきています ーの写真では、海岸に打ち上げられたクジラ 命をなく

資料1 海岸に打ち上げら れたクジラの写直

は、現状のひどさを伝 えたかったから、ペッ トボトルのふたやスト ローなど、身近なゴミ で命をなくしたクジラ の写真や「重さ計 40 kgにもなる大量のプラ スチック袋」という具

体的な数値が分かる記

事を引用して書いた。

「くわしい説明」に

《個々の子供の状況に応じた配慮》

◇選んだ環境問題についての詳しい内容や資料を見やすく設置する。 ◇探した資料が分かるよう、内容に応じて色分けした付箋を活用する。

《主たる教材例》「環境問題について報告しよう」(東京書籍5

《他教科等との関連》

主な資質

能力の系統

【社会】第4学年「健康なくらしとまちづくり」 ○世界や日本で起こっている環境問題と身近な生活をつなげて考える活動。

工夫すること。

第3学年及び第4学年

◆語と語や文と文との続き方に ◆自分の考えとそれを支える理由や 事例との関係を明確にして、書き 表し方を工夫すること。

用いたりして、自分の考えが伝わ るように書き表し方を工夫するこ

示し、その効果を考えさせる場を設定する。

ように工夫すること。

中学校第2学年

◆引用したり、図表やグラフなどを││◆根拠を明確にしながら、自分│|◆根拠の適切さを考えて説明や具体例│ を加えたり、表現の効果を考えて描写 したりするなど、自分の考えが伝わる 文章になるように工夫すること。

中学校第3学年

◆表現の仕方を考えたり資料を適切 に引用したりするなど、自分の考え が分かりやすく伝わる文章になる ように工夫すること。

資質・能力を身に付けるための言語活動例

言語活動 ●知ってほしい!地球の現状 家族で変えていこう!これからの生活 「わたし発 環境問題へのメッセージ」 ~資料を効果的に活用し、調べて分かったことや考えたことを報告する~

本単元では、社会科の学習で調べた環境問題について、家族と一緒に取り組んでいきたいという思いを伝えるため、自分の考えを明確にし、報告文にまと めるという言語活動を設定する。自分が伝えたいことをより相手に分かりやすく伝えるには、説明したり呼びかけたりするための言葉や資料が効果的な働き をしているかどうかを吟味したり、自分の考えを分かりやすく伝えるための文章構成になっているかを考えたりするなどの、各学習過程における言語能力の 育成が大切である。「伝えたい。書きたい。」という思いを膨らませ、児童が主体的に学びながら、資質・能力を身に付けることができる言語活動である。

題材の設定・情報の収集・内容の検討

- ・自分が伝えたいことを絞り込む力
- •情報を集め、必要に応じて選び出
- 1. 社会科の学習で知ったさまざまな 環境問題の中で、自分が課題意識を 持ち、家族に伝えたいと思ったこと を選ぶ。
- 2. 選んだ環境問題についての本や資 料を読み、自分の生活との関わり や、家族とともに解決していきたい 思いを基に、内容を絞る。
- 3. たくさんの資料の中から自分が伝 えたい内容にぴったり合うものを選 び出す。

構成メモの例

まとめ

構成の検討

話題の

提示

写真①

- 伝えたいことが伝 わるような報告文 の構成を考える力
- 4. 教科書のモデル文や 構成メモを参考に、自 分が伝えたいことをど のような構成で書くの かを考え、構成メモを 作成する。どの部分に 資料を使うと効果的か を考える。

考えの形成・記述

- ・事実と自分の考えを区別し、効果 的な構成や言葉、引用した資料を 使って書き表し方を工夫する力
- 5~6. 構成メモを基に、伝えたい ことが伝わるように報告文を書 く。書いた文章を何度も読み返 し、使う言葉や資料などの使い方 を工夫する。何度も読み返し工夫 する中で、自分の考えをより明確 にしていく。

記述•推敲

- 内容や表現に一貫性 があるか考えながら 文章を整える力
- 7. 文章全体の構成 や言葉、資料の使 い方など書き表し 方に着目して、文 や文章を整える。

共有

- ・相手に伝える文章 としてよいところ を伝え合う力
- 8. 書き上がった報 告文を友達と読み 合い、どんなこと が伝わってきたか 感想を伝え合う。

記述、交流、推敲を繰り返す中で、より自分が伝えたいことを明確にしていく。そ の際、選んだ内容や資料、構成、使う言葉などに修正が必要な場合は、児童が学習過 程を行き来しながら考えられるように支援する。各学習過程の時間配分を個々の児童 に考えさせることも、主体的な学びに向かわせるポイントである。

《言葉による見方・考え方を働かせるために

捉えさせたい関係付けの例》

*報告文を書くために選んだ言葉や資料は、相手の心を動かすもの になっているのかな。

対 象

• 相手の心を動 かす報告文

自分が伝えたい ことをより強く 伝えるために、効 果的に働いてい

るかな。

言葉

- ・報告文に使う言葉 ・報告文の文章
- ・選んだ資料

子供の姿の例

自分が伝えたいことを明確 にして、言葉や資料を引用 し、自分の文章に用いてい る姿。

見方・考え方を働かせる

見方・考え方を鍛える教師の手立ての例

グラフ

(1)

くわしい

説明

・たくさんの本や資料の中から自分の考えを伝 えるために必要なものを選び出せるよう、付 箋や番号を付けさせ、メモとつなげさせる。

• 伝えたいことをより強く伝えるために効果的な資料であ るかということに着目させるため、複数の資料を例に提

考えが伝わるということがどういうこ とかを全員で再確認し、読み合う時の チェックシートを基に交流させる。

第1学年及び第2学年

注意しながら、内容のまとまり が分かるように書き表し方を

第5学年及び第6学年

中学校第1学年

の考えが伝わる文章になる

学びに向かう力、人間性等

言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の 大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする態度。

- (1) 言葉の特徴や使い方に関す る事項 語彙
- 思考に関わる語句の量を増 やし、話や文章の中で使うと ともに、語句と語句との関 係、語句の構成や変化につい て理解し、語彙を豊かにする こと。また、語感や言葉の使 い方に対する感覚を意識し て、語や語句を使うこと。

思考力、判断力、表現力等

- C 読むこと
- イ 登場人物の相互関係や心 情などについて、描写を基 に捉えること。
- カ 文章を読んでまとめた意 見や感想を共有し、自分の 考えを広げること。

本単元では〔思考力、判断力、表現力等〕C イを指導の重点とする。

《単元末に期待する子供の姿の例》

ぼくは、太一のまっすぐで誠実な生き方が胸にひびきまし た。父をこえて「本当の一人前の漁師になる。」という幼い頃 の誓いを胸に与吉じいさに弟子入りし、ずっと父が死んだ瀬 にもぐり続けた太一は、本当に意志の強い人だと思ったから です。でも、そんな太一が、追い求めてきた瀬の主を「海の いのち」と思うことで仕留めなかったのは、太一の理想 とする漁師の姿が変わったからだと思いました。

わたしも、太一の成長が強く心に残り、「人は、人との出会い で成長していく」と思いました。夢を叶えるためには、太一の ような強い意志と努力が必要だと思うけど、自分と関わる人た ちの生き方や考え方から学ぶことも大切だということに気付か されたからです。「干びきに一ぴきでいいんだ。干びきいるうち ーぴきつれば、ずっとこの海で生きていけるよ。」という与吉じ いさの教えの意味を理解し、受け入れたことで、村一番の漁師 であり続けることができたと思いました。

《主たる教材例》 「海のいのち」 (東京書籍6年)

《個々の子供の状況に応じた配慮》

◇人物を表す言葉や心情を表す言葉を集めて掲示し、自分の考え をまとめる際に活用できるようにする。

《他教科等との関連》

【特別の教科 道徳】第5・6学年 OB 主として人との関わりに関すること

言語活動 ●物語「海のいのち」を読んで、座談会で語り合おう。

~描写を基に登場人物の相互関係や人物の心情の変化を捉え、強く心に残ったこと(太一の成長や生き方)を交流する~ 本単元では、物語「海のいのち」を読んで、太一の成長や生き方について強く心に残ったことを交流する「座談会」を設定している。教材文「海のいのち」

は、成長していく太一(中心となる人物)の様子が、太一に関わる登場人物の生き方や考え方を通して抽象的に描かれている。人物の成長や生き方について考 えるには、直接的な描写だけでなく、登場人物相互の関係に基づいた行動や会話、情景などで表現される暗示的な描写にも注意して読むことが大切になる。こ れらの描写に着目して心情の変化を捉え、豊かに想像することが必要であることから、本単元で身に付ける力を育成するのに適した言語活動であると考える。

資質・能力を身に付けるための言語活動例

構造と内容の把握

- ・ 描写を基に、人物相互の関係や 心情を捉える力。
 - 1. 学習課題を明確にし、学習 の計画を立てる。
- 2~5. それぞれの登場人物の行動 や会話、考え方が太一の成長 にどのような影響を与えた のか考えながら読み、まとめ

精查•解釈

- ・複数の叙述を結び付けながら、心 情の変化を見いだし、具体的に 想像する力。
- 6. 山場での太一の心情の変化を 考える。

考えの形成

- 読み取ったことを基に、自分の 考えをまとめる力。
- 7. 前時までに学習したことや、 これまでの経験を踏まえて、強 く心に残ったことをまとめる。

自慢の父

なっなって

て姜い

父情る

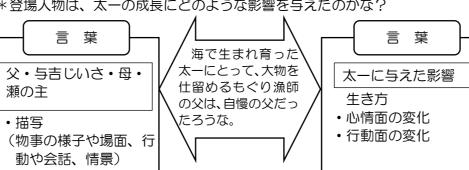
と海に

出き

- 互いの考えの違いを明らかにした り、互いの意見や感想のよさを認 め合ったりする力。
- 8. 前時にまとめたことを基に、強く 心に残ったこととその理由をグルー プで伝え合い、よく分かったこと や、自分の考えが変わったこと振り 返る。

《言葉による見方・考え方を働かせるために捉えさせたい関係付けの例》

*登場人物は、太一の成長にどのような影響を与えたのかな?



人物関係図(例)

父

海不 不 海 海 を り

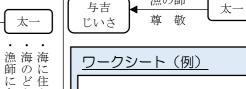
り目が続いためでみばいた。

たっただも、

もなり

何あま

らな



父をこえる漁師になる

漁の師

海で生まれ育った太一は、父のよ うな漁師になることを夢見ていた。 太一の父は、大物をしとめても、 「海のめぐみだからなあ。」とじま んすることもなく、不漁の日が続い ても悲観的にならない、力量のある いさぎよい人物であった。

そんな父にあこがれていた太一に とって、父を死に追いやった瀬の主 は、特別な存在となった。

見方・考え方を働かせる子供の姿の例

・描写を基に、登場人物の相互関係や心情を捉え、太一の人物像を形成して いく姿。

見方・考え方を鍛える教師の手立ての例

読むための視点(会話・行動・情景)を示 し、直接的に描写されていない表現にも着 目させる。



・叙述を基に人物相互の関係を図に整理し、登場人 物のものの見方や考え方を交流させ、まとめる際 に取り入れたい意見は、赤で付け加えさせる。

太一の成長や生き方について強く心に残っ たこと、そう考えた理由を座談会で交流さ せ、共有したり、考えを広げさせたりする。

第1学年及び第2学年

ど、内容の大体を捉えること。

第3学年及び第4学年

◆場面の様子や登場人物の行動な ◆登場人物の行動や気持ちなどにつ ◆登場人物の相互関係や心情など いて、叙述を基に捉えること。

第5学年及び第6学年

について、描写を基に捉えること。

中学校第1学年

◆場面の展開や登場人物の相互関係、 心情の変化などについて、描写を基 に捉えること。

中学校第2学年

◆文章全体と部分との関係に注意し ながら、主張と例示との関係や登 場人物の設定の仕方などを捉える こと。

瀬の主 | 父のかたき

何人がかりでも動かない。

・光る緑色の目。

岩のような魚。

中学校第3学年

◆文章の種類を踏まえて、論理や物 語の展開の仕方などを捉えるこ